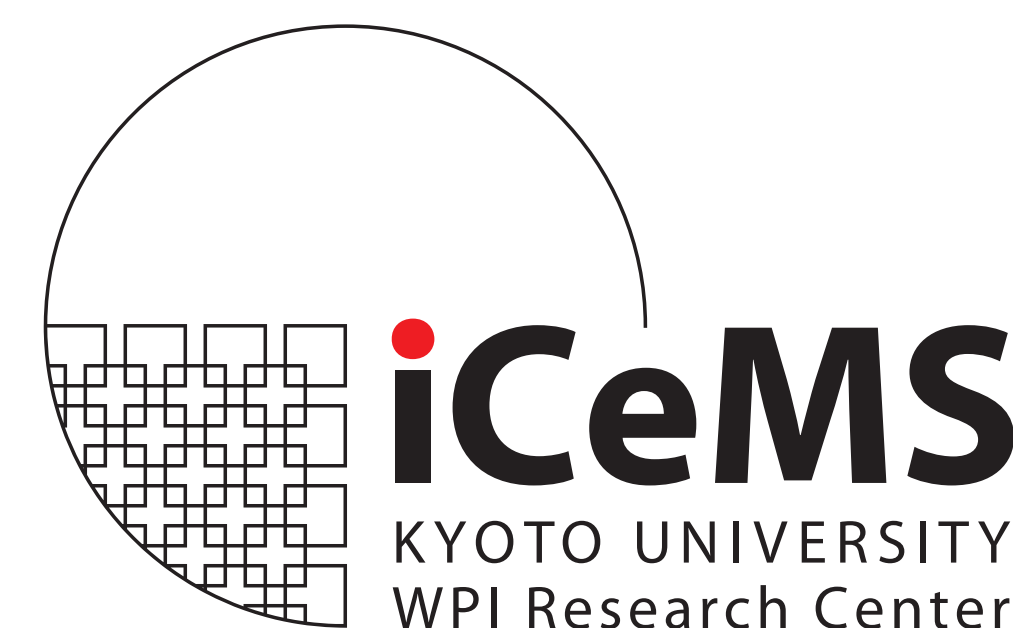


# 京都大学 物質－細胞統合システム拠点

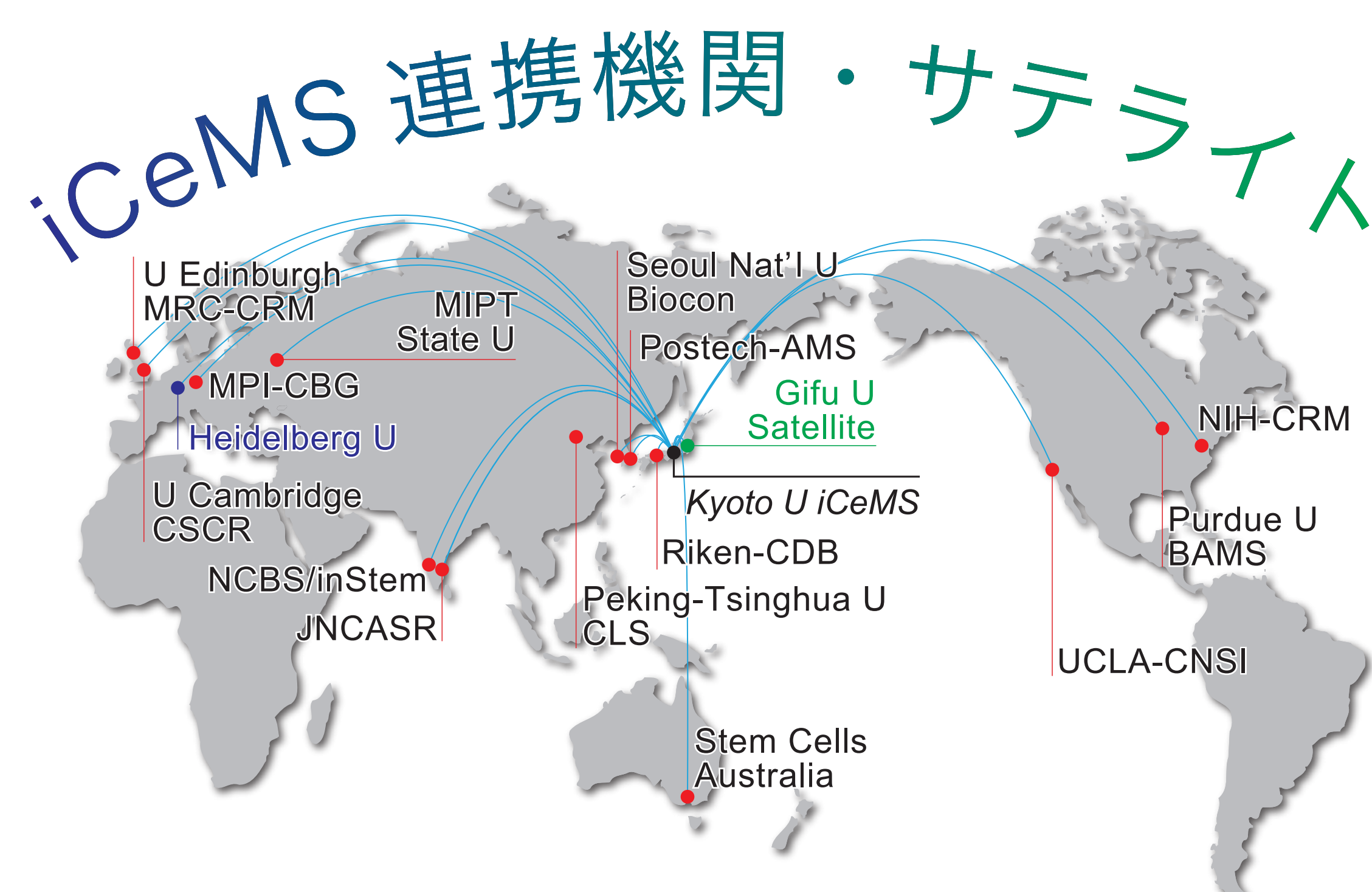


www.icems.kyoto-u.ac.jp | facebook.com/Kyoto.Univ.iCeMS

## Fusing cell and material sciences.



**細胞**の営みは、煎じ詰めれば化学で説明できます。化学で本当に説明できるならば、細胞の機能を化学物質で模倣できるはず。iCeMS の目的は、細胞の化学原理（Chemical Basis of Cells）を理解し、**幹細胞**をはじめとする**細胞の機能を操作する化学物質**（Materials for Cell Control）や、**細胞機能に触発された機能材料**（Cell-Inspired Materials）を創成することです。この目的を達成するために、京都大学が得意とする細胞生物学、化学、物理学の学際融合により、物質と生命の境界である**メゾスコピック**な研究領域を掘り下げ、究極的には**物質－細胞統合科学**という新研究領域を開拓します。



英国王立化学会（RSC）がiCeMSと共同で立ち上げた英科学誌バイオマテリアルズ・サイエンスの第1号が、2013年1月付けで発行されました。中辻憲夫教授・設立拠点長（右）が共同編集長として、**杉山弘**教授が副編集長の一人として参画しています。創刊を記念して、RSC-iCeMS 合同シンポジウム「Cell-Material Integration and Biomaterials Science」を2013年3月18-19日に京都大学で開催されました。



\*CiRA: 京都大学 iPS 細胞研究所

